

津久見市新庁舎建設基本計画（案）に対する意見の概要と市の考え

No.	意見の概要	市の考え	
1	①	<p>14P からの新庁舎の機能ですが、冒頭に津波に対する考え方を記載しています。地震・津波は、いつ遭遇するかは想定できませんが、39P のイ 避難者数と避難場所の設定では、合計 1,050 人以上（1,050 m²程度以上）となっています。そこで、新庁舎の 2F 以上の全ての執務室・会議室・空間などを避難場所に設定してはいかがでしょうか？新庁舎＝津波避難ビルといった事を PR すべきだと思います。</p>	<p>「新庁舎＝津波避難ビル」といった認識で、災害対策（特に津波対策）の強化を大きな目的としています。ご指摘のとおり、いつ来るかわからない津波に対して、出来るだけ広い避難場所を確保することが重要であると考えていますので、新庁舎のセキュリティ計画と合わせて検討し、避難スペースを確保していきたいと考えています。</p>
1	②	<p>63P を見ると、事業費は 40.4 億円+αと想定され、一般的に、計画よりも事業費は増加するケースが多いと思います。規模は、令和 2 年度の職員数から見ているようですが、一方で、令和 7 年度の人口 15,000 人を想定しています。他の自治体を見ると、市町村合併前に庁舎を建設し、合併後は、その庁舎に勤務する職員は合併前の半数以下といった事例もあります。</p> <p>33P にある令和 2 年度の職員数を前提とするのは疑問です。施設規模を縮小すれば、事業費も圧縮されると考えられますので・・・人口 15,000 人で将来的にも減少傾向にある中で、40 億円の新庁舎はどうか？率直な疑問です。また、その他の事業（特にハード事業や福祉関係）への影響は大丈夫ですか？</p>	<p>次の設計段階において、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の規模 2. 集客交流拠点整備を踏まえた施設の配置計画 3. 津波対策の断面計画 4. 構造計画（免震・制振・耐震） <p>以上を引き続き検討し決定することとしています。今後とも、効率的な施設整備を検討するなど、少しでも事業費が抑えられるよう、慎重に検討していきたいと思います。また、有利な財源を確保するとともに、津久見市行政運営執行指針に沿った行財政運営に努め、他の事業への影響を極力抑えていきたいと考えています。</p>
2	③	<p>14P からの新庁舎の機能ですが、「Ⅱ 新庁舎の機能 1 市民の安全・安心を守る庁舎」とあります。津波対策を一番と考えているのは理解できますが、市民の安全・安心の中には、新しい生活様式（ソーシャルディスタンスや感染防止対策）も踏まえた、新型コロナ対策の記載があっても良いのではと思います。新市役所を訪れている方も市職員も、ほとんどが津久見市民だと思います。何かお考えがあれば示して下さい。</p>	<p>全国的に感染が拡大している、新型コロナウイルス感染症の対策等は大変重要であり、また、必須であると考えています。基本計画策定業務においても、窓口等での感染予防や換気等について検討してきましたが、日々情勢が変化していますので、引き続き、新しい生活様式を踏まえた検討を進め、デジタル化やフィジカル・ディスタンスの確保など十分な対策を講じていきたいと考えています。</p>
2	④	<p>28P のⅡ 新庁舎の機能（4）津久見らしさを感じる仕掛け、58P のⅢ 施設計画（3）景観配慮のテーマと方向性、において景観の考え方を記載しています。私のような、年に 1 度津久見に帰省できるかどうかの者から見たら、津久見市のシンボル、まちのランドマークとなるような、魅力的な外観にこだわってもらいたいと思います。お金がかかる話と思いますが、津久見市出身者がふるさとを感じるような、他の自治体にはない魅力的な外観整備に期待しています。</p>	<p>津久見らしさ、景観形成については大変重要であると考えています。建物の配置とともに周辺施設などとの一体的な整備を念頭に、併せて、津久見市の特徴的な景観と調和し、まちのランドマークとなる新庁舎建設を目指したいと考えています。</p>

津久見市新庁舎建設基本計画（案）に対する意見の概要と市の考え

No.	意見の概要	市の考え	
3	⑤	<p>「人の導線」を意識してみると、人が集まるのではないのでしょうか。バスやタクシーのターミナル的な施設を併設してはどうでしょうか。</p>	<p>バスやタクシーが寄り付ける空間の整備については市民委員会でも意見をいただきました。公共交通の利用促進、市中心部の活性化につながることは大変重要と思われまますので、施設規模・事業費等を踏まえた上で、検討していきたいと考えています。</p>
3	⑥	<p>窓の面積を広くして電力消費削減につながる新庁舎はどうでしょうか？</p>	<p>窓は、自然採光や自然換気のために必要な適度な大きさを前提に、検討を進めていきます。</p>
3	⑦	<p>津波避難施設として考えると1階には市役所の機能を入れるべきではないと考えます。 1階には「集客施設」である、津久見ならではのカフェや飲食店等のテナントを持ち、集客、市の活性化に繋がる創りにしてはいかがでしょうか。津久見の歴史がわかる博物館（津久見高校野球部の歴史、石灰産業の歴史、漁業、ミカン農業の歴史等）を作ってみると市内外から人が集まるかもしれません。また、移住相談施設、開業相談施設、農業、漁業相談施設のスペースを確保すれば、人が定着するかもしれません。市民が自由（予約制）に利用できる会議室等のスペースも欲しいです。今の時代に必要な人の交流につながり、新しい創造が生まれ、津久見市全体で子育てに取り組めたり、高齢者の交流が出来て暖かい街になっていくと思います。</p>	<p>次の設計段階において、 1. 施設の規模 2. 集客交流拠点整備を踏まえた施設の配置計画 3. 津波対策の断面計画 4. 構造計画（免震・制振・耐震） 以上を引き続き検討し決定することとしており、その中でも、3.津波対策の断面計画については、1階をピロティとする案を中心に検討することとしています。 これまで、市民窓口の利便性、ユニバーサルデザイン・バリアフリー等の観点からのご意見や津波対策としてピロティを推奨のご意見等、両面のご意見をいただいています。スペースの有効活用とともに多くの人が集う場所づくりを念頭に、引き続き、今後の設計にて詳細を検討します。</p>
3	⑧	<p>防災面ですが、想定されている津波の高さよりもさらに高い位置に避難スペースを確保すべきだと思います。災害は予想を上回ることが多いです。 また屋上にはヘリポートを併設するとよいかと思います。空からの救助の行い易さが増して、災害時大きく役立つと思います。自家発電設備や太陽光発電施設を導入すれば災害時にも電気・光を確保できます。災害時暗い夜でも光（明かり）があれば市民は安心出来たりすると考えます。</p>	<p>昨今の災害等を鑑みますと、想定外を常に想定する必要があります。津波浸水高等、予想を超える災害が発生した場合においても、新庁舎が避難所として機能するための対策を前提に検討していきます。 ヘリポートについては、屋上のスペースの確保や事業費など、費用対効果の面から困難性が高いと考えています。 屋上には太陽光パネルや設備機器の設置を予定しています。</p>
3	⑨	<p>土日祝日は市役所は閉まると思います、そんな時すぐ避難できるよう外に階段、緩やかなスロープを設置して中にすぐ入れる仕組みも必要かと思います。 埋立地に建設予定ですが、地震発生時の液状化現象は考慮されているのでしょうか？ 2階から市役所機能を持たせるのであれば地上から2階に車が乗り入れられるスロープの設置があれば便利かと思います。</p>	<p>閉館時についても、スムーズな避難が出来るよう工夫をしていきます。また、液状化対策については地盤改良を検討しているところですが、今後、地質調査と液状化の判定を行い具体化していきたいと考えています。 2階への車の乗り入れについてですが、計画予定地の広さなどから、困難性が高いと考えています。</p>

津久見市新庁舎建設基本計画（案）に対する意見の概要と市の考え

No.	意見の概要	市の考え
3 ⑩	この新庁舎の案募集、今後のアイデア募集に関してはチャンスかもしれません。今後引き続き案を募集、何かしらのルートを利用して、市外県外の津久見市出身者へアイデアを募集してはどうでしょうか？	現在、第2期津久見市総合戦略、第5次津久見市総合計画後期基本計画を策定しているところです。深刻な人口減少が続く中では、市民に加え、市外県外に在住の津久見市出身者や津久見にゆかりがある方々などから、貴重なご意見ご提案やふるさと納税でのご協力をいただきたいと考えています。また、今回のパブリックコメントにつきましても、県外在住の津久見市出身者数名の方から貴重なご意見ご提案をいただきました。今後とも、市外県外在住の皆様のご様々なご意見やご提案をいただけるような機会を設けたいと思いますので、引き続き、ご協力ご支援をお願いしたいと思います。
4 ⑪	少子高齢化が年々進むなかで、庁舎が建設された時の人口は2~3千人減少することが想定されます。年々IT化が進み、人口減少とともに職員数も減少することから計画している面積が必要でしょうか？電子決済、リモート、オンライン化が進み庁舎の分散化が可能ではないでしょうか。また、新型コロナウイルスによる商店や事業者の影響は深刻化するばかりです。経済対策に、力を傾注する必要があるのでしょうか	市民の利便性や業務の効率性等を鑑み、庁舎の一元化を前提として考えていますが、次の設計段階において、効率的かつ適正な施設整備などを、より慎重に検討していきたいと思います。また、新型コロナウイルス対策について、とりわけ経済対策は大変重要ですので、国の地方創生臨時交付金等を活用し、様々な施策を実施してきました。今後とも引き続き、国・大分県等と連携した経済対策を強力に推進していきたいと考えています。
5 ⑫	基本設計から、大手三社に競合させることを提案します。この大手三社は、施主（津久見市）の、要求のみ示せば、グランドデザインを無償で、提案してくれます。市民の要求を募るのは良いですが、所詮素人の考え。先端技術を持った大手三社に当初から競わせては如何ですか。	設計業務については、公募型プロポーザル方式にて、客観的な視点で事業者を選定する予定としており、優秀な事業者が選定できるものと期待しています。また、並行して市民等のご意見を十分に把握することも大変重要と考えています。
5 ⑬	個人的には、（費用の問題もあるが）のっぽビルになっても、七階建を希望する。東南海地震が想定されているので、高くして避難所としても使えるようにしておく。一階は4mHのピロティ方式が良い。平時は公用車駐車場として使い、二階以上を事務所にする。二階は、万が一を考えて、書類その他の被災により機能麻痺しないように、会議室とし、後日の避難所としても使えるようにしておく。非常用発電機は、三階以上に設置。但し下階に振動騒音が伝わらないようにして置く。	次の設計段階において、 1. 施設の規模 2. 集客交流拠点整備を踏まえた施設の配置計画 3. 津波対策の断面計画 4. 構造計画（免震・制振・耐震） 以上を引き続き検討し決定することとしており、その中でも、3.津波対策の断面計画については、1階をピロティとする案を中心に検討することとしています。なお、施設の規模、津波対策等については、次の設計段階において様々な視点から検討を進めたいと考えています。